

映画のオースメロVRO特集

昨年好評いただいたオースメロVRO特集。今回はアクションとヒューマンドラマに限定してご紹介!

数あるDVDの中から映画マニアのスタッフさんを選びすべりの10タイトルを選んでみました!

映画?気持ちが悪くて入って涙がこみ上げる切ないヒューマンドラマでも、どちらも両方の要素を兼ねて、ジーンズとしたり、気持ちの良い清涼感を感じることおあれは、"エンターテインメント"と情熱の両方あり...ちやあ映画ってほんっとにイヤイモですわ!!

本作「ゲオ室蘭東町店」でレンタル中です。

60セカンズ
監督:トミテ・セナ
出演:ニコラス・ケイジ、アシュリー・ジャナー、ショリー

どんな車でも60秒以内に盗み出してしまおう!60セカンズ。
「ア・シンク・イン」60のロミオ版。原作を好きな人がこれを見ると微妙なように、脚本は「コン・エアー」や「アルマゲドン」などのスコット・ローゼンバーグと聞けば見れなくなるはず。高級車が次々と出てきてエンジン音が終わるの繰り返し。この車好きにとってはたまらぬ映画なのはもちろん、ドライビングテクニックとカーチェイスにドキドキハラハラさせられます!

感情移入なしで見られてスカッと気持ち良く楽しめますよ。
当時は気付かなかったけどア・シンジーが出ていたことに驚きました!



ブラックホークダウン
監督:リドリー・スコット
出演:ジニ・シユ、ハーヴェット・アイアズ

リドリー・スコットが描く、1993年米軍によるソマリアへの失敗ミッション。1時間足らずで終わるはずの作戦が、開始直後に2基の米軍ヘリコプター「ブラックホーク」が撃墜されてしまったことから始まる。この戦闘の混沌を描写して、アメリカ兵士の16時間にと及ぶ市街戦はまさに地獄絵図。壮絶であり、迫力ある戦闘描写は戦争の恐ろしさをまざままと見せつけられる。史実との相違点があると言われるが、それでも原作はノンフィクション小説だと感じてもおぼろげではない。
そして戦争においては、個々の兵士の個人的な思考は停止され、ただ命令に従うしかないState。



ナイトミュージアム
監督:ショーン・レヴィ
出演:ベン・スティラー、ロビン・ウィリアムス

夜になると展示物が動き出すという摩訶不思議な博物館を舞台にした「ナイト・アクション」。
離婚・失業中の中年タラシの父親が、離れて暮らす息子に促されて博物館の夜間警備員として動き始める。珍事に遭遇!
「夜の博物館はこんなところ起きるのだから」なんて、ファンタジックな想像を掻き出す。ローマ皇帝とカウボーイの大乱闘... (笑) 最後は息子も父親を誇りに思うようになる。絆を取り戻していきませよ。
子どもも親も一緒にファミリー映画として楽しめます。観終わった後は博物館に行きたいかなあかも。



メカニック
監督:サイモン・ウェスト
出演:ベンジャミン・ウオーカー

「メカニック」と呼ばれる寡黙で完璧な暗殺者を「トランスフォーマー」でお馴染みのシモン・ウエストがクールに遊ぶ演じます。監督は「トータルレター」のサイモン・ウェストですから、アクションは間違いないです。
「この映画は面白い」とか「メカニックは面白い」。ストーリーに複雑さは無く単純、トロン不在なので素に男へさ映画に仕上がっています。ストーリーはアクションアップな感じで、時間経過しますが、何故こんなにカッコイイのか、と興奮必死の映画です。
是非続編をーと願ってあげてください。
おしりおしり。



リンカーン 秘密の書
監督:ステイヴン・ゾルダノフ
出演:ベンジャミン・ウオーカー

誰もが知っているリンカーンが実はヴァンパイアハンターだった...とどう奇抜な設定のSFアクション。奇をてらった設定がおふざけ映画かと思いきや、なかなか丁寧にテンポよく、娯楽作品として楽しめますよ。
アクション物としては珍しく「斧」を使った激しいバトルも迫力満点で見応え十分、クラウマックスの映像美にも注目されます。屋間の顔で人間関係に悩む若き日の大統領リンカーンに要注目!
それ以外にも大統領リンカーンを作るヴァンパイアハンターとして扱った映画を作るアメリカ...懐の深さを感じますよ。スルーバリーグの「リンカーン」とお間違えなく(笑)



旅するジーンズと16歳の夏
監督:ケンカワヒサ
出演:アババ・タンバリン

16歳になる4人の少女の、ひと夏の物語をそれぞれ追いかけた青春映画。少女たちは生まれた時の「まず」と「結構」。初めて別々に過ごす夏休みを「ジーンズ」が物語の進行役となって4人の成長を描いていく。

正直言って、見返る価値がなさそう。涙の洪水、間違いないです。同じ世代はもちろん、大人の大人が観ても、たぶんオジサンが観ても感情移入し共感せずにはいられないはず。
少女それぞれがひと夏の経験が変わり、成長するが、友情は決して変わらない。まだ無名の女優4人の伸びやかな演技も観ている側を魅了します。切ないけど最後はハッピーな感じで頂きたい作品です。



ジャック
監督:ロビン・スミス、フォード・ニコルズ
出演:ロビン・ウィリアムス

人の4倍の速度で成長してしまうという悲しい運命の少年ジャックの、友情と絆を描いた物語。ロビン・ウィリアムス演じた見た目40歳なのに実は10歳の少年を、たくさん笑いと涙で綴った奥深い感動作です。最初はクラスメイトからの視線に傷まやがて友達となって、色々と初めての経験に驚き喜ぶ。そして自分の命が他の人より短くなくなっていく時の失望...。それでもジャックは運命への卒業式では感動のスピーチを続けます。
この映画を観た誰もが、命への感謝、輝きながら力強く、精一杯生きろと生きる大切さを、ジャックから感じ取れるのではないかと思います。



THE LAST MESSAGE 海猿
監督:伊藤英明
出演:西田敏行

海上保安庁の潜水士たちが苦難を乗り越え成長する姿を描く「海猿」劇場版の第3弾。今回は福岡沖の巨大天然ガスプラットフォームで事故が発生し救助に向かうが、思いがけない爆発などのアクシデントにより、プラットフォームに取り残されてしまう。
舞台の天然ガスプラットフォーム、取り残るようなスケール感、迫力ある映像がすごい!熱い男ごぶりの友情アリ、家族愛アリ!のほろこぼせる場面もあるのでアクションファンにおすすめします。
毎回危険な救助に向かう潜水士たちの姿をハラハラしながら見守るファンにとっては、何層見ても見返れる映画になっています。



星守る犬
監督:西田敏行
出演:西田敏行

原作本のロミオは「江村左本」の1位になりました。北海道の山中に放置されていた車庫から発見された、身元不明の男性と一匹の犬:市役所の福祉課に勤める男は、わずかな手がかりを元に男と犬の旅の道を探ります...。
東京から東北・北海道へ、美しい風景の中に、作り手の想いが込められているように感じます。世相が移り変わり、坂道を転がって落ちてしまったり、今も耳に響く孤独死。どこにもありません話で、だからこそ胸に迫るものがあります。
犬と飼い主の物語を最後まで見届けたいです。泣きます。そして犬を飼いたくなるかもかもしれません。



英国王のスピーチ
監督:トム・フーパー
出演:トム・フーパー、ジェフリー・ラッシュ

吃音に悩み、王になどなりたくなかった英国王ジョージ6世が自らを克服して、国民に愛される本当の王になるまでを描いた感動の実話。
「ロビン・フーパー」演じるジョージ6世は、言語療法士リイオネル「シエリー」の助けを借りて、それでいてロストはきちんたんの友情と感動を味わっています。
吃音のあることを悩み、喜劇師の王の内幕を、丁寧に描いた深いある演技。地味かもしれませんが、完成度が高へ、きちんたんに残る映画です。ロビン・フーパーの演技も、吃音者の苦悩を真正面から描いて、勇気いっぱいに描いてもらいます。

